

第1回アジア・オセアニア剣道選手権大会閉幕

「ひとつの道、心はひとつ」

—23の国と地域が東京に集結、競技と交流を通じ新たな歴史刻む

公益財団法人 全日本剣道連盟（会長：真砂威、東京都千代田区）は、2026年5月30日（土）・31日（日）の2日間、東京武道館にて主管した「第1回アジア・オセアニア剣道選手権大会（1AOKC）」について、大会結果および開催概要をお知らせいたします。

本大会は、アジア・オセアニア剣道連盟（AOKF、会長：蒔田実）が主催する初の公式大会として開催され、23の国と地域から選手・関係者が参加しました。

大会コンセプト「One Way, One Heart（ひとつの道、心はひとつ）」のもと、競技のみならず、国や地域を越えた交流や友好の輪が広がる大会となりました。



閉会式後、国や地域を越えて交流する選手たち。

■ 初開催の国際大会、6部門を実施

大会初日の5月30日には、男女個人戦（三段以下の部／段位無制限の部）の4トーナメントを実施。2日目の5月31日には男女団体戦が行われ、各国・地域代表による熱戦が繰り広げられました。

会場にはアジア・オセアニア各地から多様なバックグラウンドを持つ剣士たちが集い、剣道を通じた国際交流の場となりました。



アジア・オセアニア23の国と地域の選手団が東京武道館に集結した



各国・地域代表による白熱した試合が繰り広げられた

■ 勝敗を越えた交流

閉会式後には、国や地域の垣根を越え、写真撮影や言葉を交わす選手たちの姿が会場各所で見られました。

試合では真剣勝負を繰り広げた選手たちが、互いの健闘を称え合い、自然に交流を深める様子は、本大会が“剣道を通じて人と人がつながる場”であることを象徴していました。

また、「また会おう」「次は自国で」といった声も交わされるなど、今後の地域交流や世界大会へ向けたつながりを感じさせる大会となりました。



真剣勝負を終えた選手たちは、国や地域を越えて交流を深めた

■ 「One Way, One Heart」 が体現された大会に

大会期間中には、剣道に加え、居合道・杖道を含めた日本武道文化の紹介や交流も実施されました。競技のみならず、“同じ道を志す仲間との出会い”を感じられる場として、会場は終始あたたかな雰囲気にも包まれました。



「One Way, One Heart (ひとつの道、心はひとつ)」を掲げ開催された第1回大会

■ 大会結果

【団体戦】

女子団体戦

優勝：JAPAN（日本）

準優勝：KOREA（韓国）

男子団体戦

優勝：JAPAN（日本）

準優勝：KOREA（韓国）

【個人戦】

女子個人戦（三段以下の部）

優勝：W.TSAO（TPE）

準優勝：S.ZHONG（AUS）

男子個人戦（三段以下の部）

優勝：M.LEE（NZL）

準優勝：J.WILDEY（AUS）

女子個人戦（段位無制限の部）

優勝：M.TAKAHASHI（JPN）

準優勝：M.TOYAMA（JPN）

男子個人戦（段位無制限の部）

優勝：S.OHIRA（JPN）

準優勝：K.KIMURA（JPN）

※詳細結果は別紙または大会特設サイト掲載

<https://1aokc.jp/results>



各部門の表彰の一場面

■ 今後に向けて

本大会は、アジア・オセアニア地域における剣道普及と国際的連携を推進する新たな第一歩となりました。

また、次回となる第2回アジア・オセアニア剣道選手権大会は、2029年に韓国で開催されることが決定しています。

公益財団法人 全日本剣道連盟では、今後もアジア・オセアニア剣道連盟と連携しながら、地域交流と普及活動をさらに促進するとともに、2027年に東京で開催予定の第20回世界剣道選手権大会（20WKC）へ向けた取組を進めてまいります。



1AOKCは、交流と友好に包まれながら閉幕した

■ 参考URL

【大会特設サイト】 <https://1aokc.jp/>

【全日本剣道連盟公式サイト】 <https://www.kendo.or.jp/>

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

全日本剣道連盟 情報広報部 新美

Tel : 03-3211-5804

